

H18年度 春季講演会 スケジュール  
作井部門  
シンポジウム  
「新規技術と研究の現状」

5月31日（水） （仙台市戦災復興記念館 5階会議室）

世話人：池田正市\*（帝石・新潟），市川祐一郎（JDC），今里昌幸（石資・本社），澤村 啓（JDC），  
田崎誠司（帝石・本社），長縄成実（東大・工），福島直哉（出光O&G），古谷昭人（JDC），  
星野雅史（テルナイト），吉田恒夫（石資・本社） \*世話人代表

概要：近年，主要なサービス会社のほかメジャーなオペレータやメーカーによっても様々な新規技術や新手法，新しい機器などが紹介・提案されている。今回のシンポジウムでは，企業各社からこれらの新規技術の適用の実績，結果の評価あるいは導入の計画などを講演して頂くと同時に，新規技術の開発を支える側として，大学を始めとする研究機関における研究の現状を紹介して頂きたい。

石油開発は，国際的には国家政策の根幹に関わる産業であるにもかかわらず，本邦では大学などの研究機関において若く優秀な人材が大挙して行う花形分野とは言い難い。しかしながら，世界的に新規の技術を取り入れずばらしい成果を上げた例を，本邦石油坑井掘削分野においても何例か挙げることができる。すばらしい成果の影には数々の失敗や研究開発に従事した人々の努力と葛藤が存在するわけであり，こうした新規技術の開発には，技術を利用する側である産業と研究開発に携わる者との間の連携を欠くことができない。

「技術と工学のインテグレーション」というテーマのシンポジウムで産業と大学との連携が議論されてから数年が経つが，両者の間の距離感は十分に縮まったであろうか。今回のシンポジウムが，産業側の直面する課題や研究開発に対する要望，あるいは大学などの研究側が有するポテンシャルや産業側への要望といったお互いの情報を明らかにし交換する場となり，両者の間の更なる連携の架け橋となることを期待する。

シンポジウム発表時間:45分 パネルディスカッション:60分

(1)	9:20 ~ 9:30	開会の辞	作井技術委員長 富岡 正（帝石・新潟）	司会者
(2)	9:30 ~ 10:15	カッティングストランスポートシミュレータの開発	長縄成実（東大・工）	市川 武村
(3)	10:15 ~ 11:00	ドリルパイプの穴明き防止対策 - 特に外面コーティングと蓄積疲労データベースについて	石川正紀（帝石・新潟）	
< 休 憩 >				
(4)	11:10 ~ 11:55	日本発の技術開発のトレンドと事例	遠藤立樹（ソルパ`ルジ`エ`テクノジ`センター）	
< 昼 食 >				
(5)	13:00 ~ 13:45	コイルチューピング テーパーODストリングの開発	橋本博之（ハリバートン・新潟）	池田
(6)	13:45 ~ 14:30	近年の鋼管体設計手法・ソフトの開発動向	森田信男（早大）	
< 休 憩 >				
(7)	14:40 ~ 15:25	JAPEXにおける新技術採用 SBM導入について	今里昌幸（石資・本社）	福島
(8)	15:25 ~ 16:10	近年JDCが経験した新規技術・機器の適用事例に関する報告	谷 和明（JDC）	
< 準 備 >				
(9)	16:20 ~ 17:20	パネルディスカッション	司会者 長縄成実（東大・工）	

作井部門 個人講演

6月1日（木） （仙台市戦災復興記念館 第1会議室）

個人講演発表時間:20分

(1)	9:00 ~ 9:20	掘削現場における坑井地質データ編集の紹介	大月祥光・佐藤義和・新保正人（帝石・新潟）	長縄 澤村
(2)	9:20 ~ 9:40	ヘビーワールドドリルパイプの切断事故とそのフィッシング作業中に発生した掘管の抑留	大塚克久（帝石・新潟）	
(3)	9:40 ~ 10:00	海洋掘削におけるコンダクター沈下問題とその対策	戸田幹雄・上村義則・筑井秀昌（石資・本社）	
(4)	10:00 ~ 10:20	"ちきゅう"による下北沖水圧式ピストンコアリング試験の結果について	石井美孝・許 正憲・和田一育・澤田郁郎（JAMSTEC），友本 潤（石資・本社）	
< 休 憩 >				
(5)	10:30 ~ 10:50	廃泥水処理システムの船上試験結果について	和田一育・齋藤昌勝・高田光芳・佐藤雄二（JAMSTEC / CDEX），大井雄一（テルナイト），山口浩吉（IHIEM）	

(6)	10:50 ~ 11:10	大深度掘削へ向けたデュアル・エレベータ・システムの開発	井上朝哉・和田一育・宮崎英剛 (JAMSTEC)	中村
(7)	11:10 ~ 11:30	ケーストホール・フォーメーションテスターの日本での適用について	日下浩二 (ソルパ・ルジエ・長岡)	星野
(8)	11:30 ~ 11:50	坑壁不安定性研究のケーススタディ	山本晃司 (JOGMEC-TRC), 田村満夫 (JODCO), 岡津弘明 (JOGMEC-TRC)	
< 昼 食 >				
(9)	13:00 ~ 13:20	花崗岩掘削時のTSP (耐熱性多結晶ダイヤモンド) の性能評価	唐澤廣和 (産総研), Akhmedi Eko・田嶋逸郎 (三菱マテリアル)	古谷
(10)	13:20 ~ 13:40	地圧荷重を考慮した鋼管体設計	建守 悠・森田信男 (早大)	
(11)	13:40 ~ 14:00	鋼管穿孔用複数ノズル型水中アプレシブウォータージェットシステムの開発	木崎彰久・高橋智誓・松木浩二 (東北大・環境科学研), 今 隆道・小勝 武 (関東天然瓦斯)	池田
(12)	14:00 ~ 14:20	坑井壁面き裂の発生制御による掘削泥水の高比重化と室内実験による検証	伊藤高敏 (東北大・流体科学研)	
< 休 憩 >				
(13)	14:30 ~ 14:50	坑井寿命を考慮したセメントスラリーの適用	菅野 俊 (石資・本社)	市川
(14)	14:50 ~ 15:10	管路内流動系における炭酸ガスの溶解およびハイドレート生成特性	千葉裕史 (秋大・工), 佐々木久郎 (九州大)	
(15)	15:10 ~ 15:30	大水深掘削技術分科会の活動状況について	古谷昭人 (JDC)	今里
(16)	15:30 ~ 15:50	削井技術に於けるOHSMS活動	金子伴己 (帝石・新潟)	
< 休 憩 >				
(17)	16:00 ~ 16:20	New Jackup Rig「第10白龍」の建造について	植竹成仁 (JDC)	長縄
(18)	16:20 ~ 16:40	Jackup Rig「GULF-3」の改造工事について	松岡 洋・森 紀久夫 (GDI)	
(19)	16:40 ~ 17:00	ケーシングドリリングとエクспанダブルチューブラに関する近年の技術動向	前田啓彰 (JOGMEC), 梅津 覚 (JDC)	福嶋
(20)	17:00 ~ 17:20	閉会の辞	作井技術委員長 富岡 正 (帝石・新潟)	